

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱 児童部門 事業報告書

1. 概要

法人理念を基に「働きやすさと成長を実感できる職場づくり」「利用者満足度及び支援力の向上」「安定的な事業運営」「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」を部門目標に掲げ、事業に取り組んだ。

職員個々のスキルアップと部門全体のチームワーク向上を同時並行で推進する事で総じて安定的な事業運営を行う事ができた。

次年度も利用児・家族・地域のニーズに真摯に向き合い質の高い支援・求められるサービスを提供できるよう人材育成に努め児童部門としての責務を果たしていく。

2. 目標に対する取り組み

① 働きやすさと成長を実感できる職場作り

- ・「職員が働きやすい環境作り」に向け、管理者を中心に各職員と定期面談をする中で、各職員が希望するキャリアや働き方などの把握に努めた。また、法人・部門が期待する職員像も伝える中で、やりがいを得ながら一人一人が活躍できる職場環境作りに部門全体で取り組んだ。
- ・2024 年 10 月、職員の働きやすい環境作り・職場環境改善を目的に、ちゅうぎん ES サポート調査を実施している。「人間関係」を中心に全体的に良い結果であったが、中堅・リーダー層の育成体制や、業務の効率化標準化などが課題としてあがっている。今後の課題として取り組んでいく必要がある。
- ・人材育成に関して、OJT、エルダー制度、目標管理、法人研修、外部研修等により、目標を持ちながら仕事に取り組む環境のもと学ぶ機会を設け、支援力、人間力、プロ意識の向上を図った。また、定例部門会議内で職員の現状(強み・課題)を管理職間で共有し、必要に応じて育成方法を検討している。他者理解に努め、職員個々に合う育成を心掛けた。
- ・上位層の管理職育成に関して、部門運営会議を定期開催している。中長期的視点での経営戦略やリスク管理、法人・部門の方向性について議論を交わし、一定の判断力や計画性等について学びを深めた。
- ・キャリアアップについて、准職員から正職員への昇格者 3 名となっている。

② 利用者満足度及び支援力の向上

- ・サービス満足度調査でいただいたご意見や課題を真摯に受け止め、各事業所で改善を図っている。

- ・2022年度より、地域支援事業「めやすばこ みつけ」「めやすばこ ぽかぽか」「めやすばこ ふたば」を継続的に開催することで認知も広がり、定期的に利用して下さる方も増えている。今後も、安心して子育てができる地域づくりの実現に向け、継続的・発展的な取り組みを行う。

3. 利用実績 (別紙参照)

4. 年間行事

4月	【広報】みんなのこうほうし 第5号発行
5月	【勉強会・研修】部門研修（新採用職員向け） 【親睦会】自己紹介を兼ねたゲーム大会(zoom)
6月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（かがやき手帳を書く会） 【勉強会・研修】保護者向け勉強会（自閉症の特性）
7月	【勉強会・研修】部門研修（事業所間情報交換研修）
8月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（ワークショップ） 【勉強会・研修】部門職員向け研修（自閉症・基礎）
9月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（重松先生勉強会） 【勉強会・研修】保護者向け勉強会（父親向け勉強会） 【勉強会・研修】部門職員向け研修（自閉症・実践）
10月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（ペアレントトレーニング） 【広報】みんなのこうほうし 第6号発行 【親睦会】部門親睦会(スポーツ大会)
11月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（ペアレントトレーニング） 【勉強会・研修】部門職員向け研修（成人期の支援） 【勉強会・研修】部門職員向け研修（車両運転講習）
12月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（サポートブック） 【勉強会・研修】保護者向け勉強会（重松先生勉強会） 【勉強会・研修】保護者向け勉強会（かがやき手帳を書く会）
1月	【勉強会・研修】保護者向け勉強会（サポートブック） 【勉強会・研修】部門研修（事業所間情報交換研修）
2月	【勉強会・研修】部門職員向け研修（小田桐先生勉強会） 【親睦会】部門親睦会(食事会)

※毎月部門会議、各事業所職員会議を実施

※利用児対象の行事については、各事業所事業報告参照

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱 めやすばこ・きつず 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の3点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」

各々の役割を明確にししながら、業務の精査・効率化を図っていく。エルダー職員は新人職員の育成を行いながら、職員個々が明確にキャリアビジョンを描ける育成体制を整える。職員のモチベーションを構築しながら、計画的に児童発達管理責任者やスタッフリーダー等今後の法人を担う人材育成をしていく。

きつずぷらすとの合同行事や合同勉強会を企画運営する経験を職員が重ねる中で、他事業所職員との連携の取り方や業務の進め方などを学ぶ機会とする。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」

保護者がより安心してサービスをご利用いただけるよう個々の支援力の向上に努める。支援内容については、利用者特性を理解した上で支援を組み立て、職員が統一した支援を提供する。職員会議、朝礼・昼礼・終礼では、具体的な課題解決策を一人一人が考えられるようにし、職員同士で互いに質を高め合えるようフィードバックをしていく。満足度調査の結果を基に保護者参観や茶話会を定期的に行ない、保護者同士の横の繋がりと職員間との信頼関係の構築を行う。

③ 「安定的な事業運営」

職場環境を整えることで職員が長く働ける場となり、事業所の運営が安定することを目指す。稼働については職員全員が意識できるよう、毎月開催される職員会議で周知していく。季節に合わせたイベント等を企画・開催することで、利用児及び保護者の支援に対する期待感や満足度の向上を図り、安定的な稼働に繋げる。支援計画作成会議の場を設け、パート職員も含めて支援計画の作成を検討する。

④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」

児童発達支援においては、保育園・幼稚園への訪問を1人当たり年に2回行い、地域との連携を図りながら支援を行う。保育所等訪問支援においては、保育園、幼稚園や学校と一体となり支援を進めることで、課題解決に留まらず保育や教育の場における障害児支援の理解を促していく。広報活動においては、年4回事業所広報誌を作成し、利用者及び保護者に向けて情報を発信する。情報・広報委員会と連携を図り、SNS等を活用した情報発信を積極的に進める。

2. 利用者・職員の状況

(1) 児童発達支援事業：利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	211	232	231	228	195	223
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
実績	241	229	220	221	203	231

2024 年度利用児合計…2,702 人

(2) 児童発達支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261 日

(3) 保育所等訪問支援事業：利用実績（契約者数 9 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	5	13	16	15	4	21
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	24	26	20	25	24	21

2022 年度利用児合計…214 人

(4) 保育所等訪問支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	20	21	20	21	18	18
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
開所日	22	20	20	19	18	21

開所日合計…240 日

(5) 居宅訪問型児童発達支援事業：利用実績（契約者数 0 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	0	0	0	0	0	0
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
実績	0	0	0	0	0	0

2024 年度利用児合計…0 人

4. 施設整備

①エアコンの購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	531,300 円	ノートパソコン	531,300 円
計	531,300 円	計	531,300 円

（※処理年月日 2024 年 12 月 10 日）

②トイレ増築工事

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	1,429,411 円	トイレ増築工事	1,429,411 円
計	1,429,411 円	計	1,429,411 円

（※処理年月日 2024 年 3 月 1 日）

③ノートパソコンの購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	110,000 円	ノートパソコン	110,000 円
計	110,000 円	計	110,000 円

（※処理年月日 2024 年 3 月 26 日）

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ・きつずⅡ 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の 4 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ①「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について、職員一人一人がやりがいをもって長く働けるように、ワークライフバランスと職員個々の意向を大切にしながら育成や職場環境の整備を進めていく。具体的には、定期的な面談などを通じて、①職員本人の意向確認 ②法人・部門・事業所として期待していることの共有 ③中長期的な目標とそこに向かうための短期目標を設定する ことを本人と管理者で行うこととする。
- ②「利用者満足度及び支援力の向上」について、2023 年度のサービス満足度調査結果をもとに更なる満足度の向上に取り組む。具体的には、参観や電子連絡帳での発信を通じて、普段の活動中の様子や支援の具体的内容をより深く知っていただく機会を確保すること、幼稚園や保育園などの関係機関と、ケースの状況に応じて密に連携を取ることで利用者満足度の向上に繋げていく。また、部門内研修や外部研修などの内容について事業所内でフィードバックを行い、事業所全体の支援力向上に繋げる。
- ③「安定的な事業運営」について、職員一人一人がサービスの質向上と事業運営両方の視点を持てるように目標稼働率の周知、現在の稼働状況の確認を職員会議やミーティングなどで行う。各職員の立場に応じて、利用調整・活動内容の検討・備品の節約などそれぞれができることに取り組んでいく。管理者は 2024 年度報酬改定の内容を十分に理解し、部門全体で情報共有をしながら加算の抜けなどが無いように適切に対応をしていく。
- ④「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について、利用児が通う園と積極的に連携を取り、顔の見える関係を構築していく。積極的に意見を交わす中で、園の先生方が特性や支援方法をより深く理解するきっかけとなれるように心掛けて対応していく。また、近隣の園と良好な関係を構築することで、地域の支援基盤強化やネットワーク構築に繋げる。

以下各項目について記載する。

④「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について

利用児が通う園への送迎時に園の先生方から相談を受けることがあり、利用児の特性を基に様子の共有を行なっている。関わり方の共通認識を図ったり協働できる支援について相談しあえる良好な関係を築いたりしていくことで、園の先生方が特性や情報をより深めることができるよう、引き続き積極的に対応していく。

利用児の園見学を実施して関係づくりを行うなかで、情報発信するための職員個々の伝える力を養っていけるようにする。

2. 利用者・職員の状況

(1)利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	196	217	206	226	207	219
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	230	234	230	233	212	237

2023 年度利用児合計…2,566 人

(2) 利用（開所）状況

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261 日

(3)職員の状況（2025 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	管理者	児童発達支援管理責任者	保育士	児童指導員	合計
常勤	1		4	1	6
非常勤			1		1

※管理者と児童発達支援管理責任者は兼務

(4)職員の勤務体制（2025 年 3 月 31 日現在）

A 勤	8:30～17:15（45 分休憩含む）
B 勤	8:30～12:30
C 勤	13:15～17:15
D 勤	8:45～17:30（45 分休憩含む）
E 勤	8:30～16:45（45 分休憩含む）
F 勤	9:00～16:45（45 分休憩含む）

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ ひ・よ・り きっず 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境づくり」を基に、以下の 4 点の事業所目標を設定し事業に取り組んだ。

①「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について、管理者・児童発達支援管理責任者は職員個々の長所短所やキャリアビジョンの把握に努め、ワークライフバランスと各職員の意向を大切にしながら育成を行っていく。具体的には、定期的な面談などを通じて、①職員本人の意向確認 ②法人・部門・事業所として期待していることの共有 ③中長期的な目標とそこに向かうための短期目標を設定することを本人と管理者・児童発達支援管理責任者で行うこととする。職員の強みを活かした業務分担やイベント企画を通じて、職員が達成感ややりがいを実感できることを大切にしていく。

②「利用者満足度及び支援力の向上」について、2023 年度のサービス満足度調査結果をもとに更なる満足度の向上に取り組む。具体的には、2023 年度に好評だった保護者茶話会を継続的に実施することで保護者同士の横の繋がりを構築していく。また、利用児ひとりひとりのニーズを正確に把握して活動に落とし込むこと、保育所等訪問支援事業を活用して集団生活の中に介入していくことで満足度の向上に繋げていく。

③「安定的な事業運営」について、職員一人一人がサービスの質向上と事業運営両方の視点を持てるように目標稼働率の周知、現在の稼働状況の確認を職員会議やミーティングなどで行う。各職員の立場に応じて、利用調整・活動内容の検討・備品の節約などそれぞれができることに取り組んでいく。管理者は 2024 年度報酬改定の内容を十分に理解し、部門全体で情報共有をしながら加算の抜けなどが無いように適切に対応をしていく。

④「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について、利用児が通う園と積極的に連携を取り、顔の見える関係を構築していく。特に園生活において困難を抱えているケースに対して、保育所等訪問支援事業を活用して園と協働しながら取り組むことで、園の先生方が特性や支援方法をより深く理解するきっかけにしていく。また、近隣の園と良好な関係を構築することで、地域の支援基盤強化やネットワーク構築に繋げる。

以下、各項目について記載する。

2. 利用者・職員の状況

(1) 児童発達支援事業：利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	220	238	226	245	228	226
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	241	243	226	227	222	222

2024 年度利用児合計…2,764 人

(2) 児童発達支援事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261 日

(3) 保育所等訪問事業：利用実績（契約者数 5 名）

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	5	6	7	4	6	4
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	6	7	6	7	7	8

2024 年度利用児合計…6 人

(4) 保育所等訪問事業：利用（開所）状況

単位：日

年月	2023 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	20	21	20	21	17	19
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
開所日	22	20	20	19	18	20

開所日合計…237 日

(5) 職員の状況（2024 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	管理者	児童発達支援管理責任者	児童指導員	保育士	指導員	合計
常勤	1	(1)	1	3		5
非常勤			1	2		3

※管理者と児童発達支援管理責任者は兼務

② パソコン購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	138,600 円	パソコン取替費	138,600 円
計	138,600 円	計	138,600 円

(※処理年月日 2024 年 11 月 22 日)

③ パソコン購入

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	110,000 円	パソコン取替費	110,000 円
計	110,000 円	計	110,000 円

(※処理年月日 2025 年 3 月 26 日)

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ きつずぷらす 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下 3 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」

- ・事業所内でのコミュニケーションを大切にし、お互いに意見が言いやすい環境作り、コミュニケーションの多い職場作りを行う。
- ・一つ一つの業務について精査を行い、それぞれの役割分担を明確にすることで、業務効率化を進め、働きやすい環境を整備する。
- ・目標が実践出来る環境作りを行うことでより職員の育成と自己実現を目指す。
- ・一人一人に合わせたキャリアビジョンを描きながら、法人職員として最大限の力が発揮できるよう職員の育成を図り、職員それぞれがやりがいと成長を感じることができる機会を作る。
- ・将来的に事業所や部門を担うことの出来る人材を育成していく。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」

- ・2023 年度サービス満足度調査結果を踏まえ、より良いサービス提供を行うために活動内容や環境整備等の検討・改善を図る。
- ・利用児支援に対する知識・技術の向上を図る為、外部研修への積極的な参加と事業所内・部門内へのフィードバックの機会の設定を行なう。
- ・利用児及び保護者のニーズを拾い上げ、それに沿ったイベント等を企画することにより、満足度の高い支援の提供を目指す。
- ・年間で保護者向けの茶話会、参観日、勉強会、保護者参加行事等を設定し、保護者同士の横の繋がり場の提供と保護者と職員間の信頼関係の構築を図る。

③ 「安定的な事業運営」

- ・職員全体が運営への意識を持ち、目標稼働率を達成するために必要なことを考えながら業務に当たることで安定的な稼働に繋げていく。
- ・「楽しく学ぶ」ことを大切にしながら、適切な活動や行事を企画・実施することで、「通いたい」「通わせたい」と思っただけの事業所を目指す。
- ・様々なニーズに沿ったイベントを企画することにより、利用児や保護者の利用意欲を高め、稼働の安定に繋げる。

でなく、利用回数の少ない利用児に積極的に声をかけたことで追加利用をしてくださる方が増えていった。利用回数が増えたことで個々に合わせた支援を提供できる回数が増え、職員においても個々に必要な支援や保護者の要望に合った活動を設定することができ、それぞれの利用児に合わせた支援を行なうことができた。支援による成長の実感も伴い、キャンセル対応での振り返りを希望してくださる方が増えたように感じている。

- ④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について、今までは1週間に1度のご利用時に対面で相談を受けることが多く、困りごとに対して解決するまでに時間を要していたが、電子連絡帳を導入したことにより適宜保護者の方の相談を受け付けることができ、早急に対応することができた。また、相談内容によっては相談員、小学校の担任の先生などが参加する担当者会議の場を開いていただき、関係機関で顔を合わせながら情報共有や解決方法を話し合う機会を設けることで、連携を図りながら生活しやすい基盤づくりを目指した。今後も顔の見える関係を大切にすることで、ご利用児、保護者の方が安心して生活できるようしていきたい。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績（定員 10 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	237	223	229	237	203	234
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	236	222	225	228	220	236

2024 年度利用児合計…2,730 人

(2) 利用（開所）状況

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261 日

(3) 職員の状況（2025 年 3 月 31 日現在）

単位：人

	管理者	児童発達支援管理責任者	児童指導員	保育士	指導員	合計
常勤	1	1	1	2		5
非常勤			1		1	2

2024 年度 社会福祉法人めやす箱
児童発達支援センター めやすばこ 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基本とし、以下の 4 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について、職員個々が明確なキャリアビジョンを描けるような育成体制の整備・ワークライフバランスを意識した職場環境作りに部門全体で取り組み、法人理念に掲げる「職員が働きやすい環境作り」を推進する。
- ② 「利用者満足度及び支援力の向上」について、事業所及び事業所合同の保護者向け勉強会や茶話会などを定期的を開催することにより、保護者の学ぶ場や横の繋がりを構築する機会を確保する。また、職員の利用児支援に対する知識・技術力の向上を図るため、事業所及び法人内外における研修への参加の推進、外部講師によるコンサルテーションの機会を確保する。
- ③ 「安定的な事業運営」について、部門職員全員が支援の質・満足度の向上だけではなく、稼働率・リスクマネジメント等の事業運営への意識も持ち、それぞれの立場でできることに取り組む。それにより、安定的かつ持続的な部門運営に繋げる。また、管理職間の連携強化・フォロー体制の構築を推進することで、部門全体で支え合うことのできる部門運営を目指す。
- ④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について、倉敷市中島地区で実施している事業や、地域支援事業において、ニーズを検証しながら継続的に実施することにより、地域支援体制の充実や事業の定着化を目指す。また、地域住民向け研修会を実施することで、地域における支援基盤の構築を図る。さらに、児童部門広報誌や SNS 等を活用し、地域社会に向けて障害児支援に関する情報発信を積極的に行う。

以下、各項目について、事業所での取り組みを記載する。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績

【児童発達支援センター(児童発達支援：定員 30 名)】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	657	677	691	753	638	679
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	739	712	632	661	627	687

2024 年度利用児合計…8, 153 人

【児童発達支援センター(保育所等訪問支援)】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	0	0	0	0	0	0
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	0	0	0	0	0	0

【児童発達支援センター(障害児相談支援)】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	1	5	5	5	0	4
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	5	7	11	7	5	7

(2) 利用（開所）状況

【児童発達支援センター(児童発達支援・障害相談支援)】

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261 日

【児童発達支援センター(保育所等訪問支援)】

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	21	21	20	22	17	19
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
開所日	22	20	20	19	18	20

開所日合計…239 日

4. 施設整備

① 駐車場整備(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	3,506,800 円	駐車場整備	3,506,800 円
計	3,506,800 円	計	3,506,800 円

※処理年月日 2024 年 11 月 4 日

② 業務用 IH ジャー炊飯器の購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	119,818 円	業務用IHジャー炊飯器 購入費	119,818 円
計	119,818 円	計	119,818 円

※処理年月日 2025 年 1 月 21 日

③ 公用車の購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	495,750 円	公用車購入費	495,750 円
計	495,750 円	計	495,750 円

※処理年月日 2025 年 1 月 31 日

④ ノートパソコンの購入(手数料、整備費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	113,667 円	ノートパソコン 購入費	113,667 円
計	113,667 円	計	113,667 円

※処理年月日 2025 年 3 月 26 日

⑤ ノートパソコンの購入(手数料、整備費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	113,667 円	ノートパソコン 購入費	113,667 円
計	113,667 円	計	113,667 円

※処理年月日 2025 年 3 月 26 日

2024 年度 社会福祉法人めやす箱
児童発達支援センターさんぼるて 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の3点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」については、各クラスの職員配置を安定させ、必要に応じてクラス間でフォローを行いながら風通しの良い職場環境を整備し、安心安全な事業運営を行い、引き継ぎができる体制を整備し育成を行う。
また、ワークライフバランスを意識し家庭と仕事の両立をしながら業務を行っていく。個々の職員の人間力とプロ意識を向上するような研修を行い、「成長を実感できる職場作り」を整備していく。
- ② 「利用者満足度及び支援力の向上」については、「2024 年度サービス満足度調査」の結果を踏まえ「保護者の情報共有の場の提供」と「イベントの開催」に取り組む。
「保護者の情報共有の場の提供」については、保護者が学べる機会を提供し、子どもの就学経験がある保護者との情報共有の場など、ニーズに沿った場を提供していく。
「イベント開催」については、家族と利用児とのふれあいの場を意識し、家族・きょうだいが参加できるような祭りやイベントの開催方法を検討していく。
また、「音楽療法」や「機能訓練」「療育」など外部講師と連携し、職員の専門性向上の場を設けていく。
電子連絡帳の導入を行い、保護者とのタイムリーな情報共有と共に、信頼関係構築を行っていく。
- ③ 「安定的な事業運営」については、感染症予防対策を行い、安定して事業所が開所できるように努めていく。
また、親子登園など曜日固定の利用児については利用希望等の把握を行い、キャンセル対応を行っていく。放課後等デイサービスについては引き続き、長期休暇時、土曜日の受け入れを職員配置の状況も考慮し行っていく。
児童発達支援センターの機能強化に向け、保育所等訪問支援事業と相談支援事業へ参入する準備期間とし、各事業の導入について準備していく。
- ④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」については、地域のイベントや公共の場（公園など）でのふれあいの場を設け、地域の中での我々の事業について知る機会や障害児理解の機会を作る。SNS 等の資源を活用した情報発信を行う。

の神社への参拝、コンビニ等への買い物活動を行ったりする事で、地域とふれあいの場を多く持てた。近隣施設や地域住民と顔の見える関係を徐々に築くことができ、地域の中での我々の事業を知ってもらう機会となった。SNS等の資源を活用し、活動内容を情報発信することも行っている。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績

【児童発達支援センター：定員 24 名】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	368	410	407	395	356	404
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	485	428	438	407	408	449

2024 年度利用児合計…4,955 人

【放課後等デイサービス：定員 6 名】

単位：人

年月	2023 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	14	2	3	20	52	4
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績	0	4	11	12	4	16

2024 年度利用児合計…142 人

【児童発達支援センター(障害児相談支援)】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績						
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績				0	0	6

※2025 年 1 月 1 日～

【児童発達支援センター(居宅訪問型児童発達支援)】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績						
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績				0	0	0

※2025 年 1 月 1 日～

【児童発達支援センター(保育所等訪問支援)】

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績						
年月	10 月	11 月	12 月	2025 年 1 月	2 月	3 月
実績				0	0	0

※2025 年 1 月 1 日～

3. 主な年間行事

4月	オリエンテーション	10月	運動会
5月	こどもの日の集い	11月	遠足
6月	利用児健康診断 保護者懇談	12月	クリスマス会 保護者懇談
7月	かがやき手帳勉強会 夏祭り	1月	かがやき手帳勉強会
8月	茶話会	2月	利用児健康診断
9月	保護者懇談	3月	卒園式 お別れ会

4. 施設整備

① 園庭 鳥居型アルミ柵設置

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	80,000 円	園庭 遮光ネット 柱設置	750,000 円
助成金 （みずほ福祉助成財団）	670,000 円		
計	750,000 円	計	750,000 円

（※処理年月日 2024 年 12 月）

② 日産 モコ（軽自動車）

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	461,000 円	日産 モコ	461,000 円
計	461,000 円	計	461,000 円

（※処理年月日 2024 年 6 月）

③ トヨタ スペイド（普通自動車）

事業収支			
収支内訳（資金内訳）		支出内訳（事業費内訳）	
項目	金額（円）	項目	金額（円）
自己資金	411,265 円	トヨタ スペイド	411,265 円
計	411,265 円	計	411,265 円

（※処理年月日 2024 年 9 月）

2024 年度 社会福祉法人 めやす箱
めやすばこ・ぶるーむ 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下の 3 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について

定期的に責任者と職員とで話し合う機会を設け、業務内容や業務量などへの思いを確認し、各職員の役割を明確にしていきながら業務の精査を行っていく。今後事業所の現場リーダーを担っていただく職員には、少しずつ新たな業務を伝えていき、成長に繋げられるよう目標に対するビジョンを明確にしたうえで定期的にビジョンの共有を行っていく。また、正職員に関わらずパートやアルバイトにも勉強会や研修会などに積極的に参加をしていただき、支援力や人間力、プロ意識の向上に向けて日々研鑽を行っていく。日々コミュニケーションを大切にしていきながら、「目配り」、「気配り」、「心配り」を職員それぞれが意識し、助け合いのできる雰囲気作りを行っていく。

② 「利用者満足度及び支援力の向上」について

2023 年度の満足度調査の結果を踏まえて、利用者の特性に合わせた適切な支援方法や環境設定、利用時間の延長などの必要な改善を行っていく、サービスの質の向上を図っていく。利用者との関わりの中で個々のケースに合った対応を職員間で模索し、どの職員も一貫したサポートが行えるよう、日々些細なことでも情報共有を行っていく。余暇活動では、利用者の興味関心に応じた余暇グッズを職員間で議論し、それぞれの特性に合った余暇を提供することで活動内容の充実化を目指す。また、活動がマンネリ化しないよう、定期的に新規の活動を取り入れることで利用者の満足度の向上を図っていく。

③ 「安定的な事業運営」について

事業所の定員増加に向けて昨年の目標稼働率以上の成果を出していくために、新規の契約や既存の利用者の利用日数の増加を検討していく。事前に感染症によるキャンセルを想定した上で余裕を持った利用調整を行っていく、利用人数が少ない際には積極的にキャンセル対応を行っていく。また、定期的に目標稼働率と現状の稼働率を全職員で共有、改善策の模索を行うことで、より稼働を意識した運営を行っていく。ま

入れることで利用者の満足度の向上を図ることができた。

職員の専門性向上を目的とするために法人内研修や勉強会、外部の研修に積極的に参加し、障がい特性や強度行動障害の方への対応の仕方等を学んでいき、学んだ情報を随時職員間でフィードバックを行うことで支援力の向上を図ることができた。

③ 「安定的な事業運営」について

年間稼働目標を達成するために、新規契約や既存の利用者の利用日数の増加、キャンセル対応を随時行った。感染症によるキャンセルを想定した上で利用調整を行っていたが、体調不良等で想定以上の当日キャンセルが多くなってしまい、年間稼働目標 14 人に対して実際の稼働率が 12 人となっている。待機者はおられるがマンツーマンでの対応が必要な方が多く、現状の体制では新規契約を結びにくいことがあった。目標稼働率に向けた対策として、相談機関に日中一時支援事業所を探されている方がいないか定期的に連絡を行ったが、送迎希望の方が多いことやご利用者同士の相性について職員間で検討した結果契約に繋がらなかった。

2025 年度に向けた取り組みとして、新規契約を 5 人行った。どの曜日にも突然のキャンセルが出たとしても稼働率を下回ることがないように調整を行うことで安定的な事業所運営に努めていく。

④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」について

地域社会に向けて障害児支援に関する情報があれば積極的に発信を行っていくよう努めた。引き続き地域でサポートを必要としている方に対して情報発信を行っていくとともに必要に応じて相談機関等と連携しながら地域支援体制を構築していく。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績（定員 20 名）

単位：人

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
実績	263	262	272	283	268	252
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
実績	282	269	269	278	249	285

2024 年度利用児合計…3,232 人

(2) 利用（開所）状況

単位：日

年月	2024 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
開所日	22	21	24	22	20	22
年月	10 月	11 月	12 月	2024 年 1 月	2 月	3 月
開所日	23	22	22	21	21	22

開所日合計…261 日

4. 施設整備

① 公用車の購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	468,000 円	公用車購入費	468,000 円
計	468,000 円	計	468,000 円

※処理年月日 2024 年 5 月 24 日

② 鍵付きロッカーの購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	10,780 円	鍵付きロッカー 購入費	10,780 円
計	10,780 円	計	10,780 円

※処理年月日 2024 年 8 月 29 日

③ ノートパソコンの購入(作業費、諸経費込)

事業収支			
収支内訳 (資金内訳)		支出内訳 (事業費内訳)	
項目	金額 (円)	項目	金額 (円)
自己資金	137,500 円	ノートパソコン購入 費	137,500 円
計	137,500 円	計	137,500 円

※処理年月日 2024 年 11 月 20 日

2024 年度 社会福祉法人めやす箱
相談支援事業所めやすばこ あのね 事業報告書

1. 概要

法人理念である「利用者主体のニーズの追求」「ナンバーワンの福祉サービスを目指す」「職員が働きやすい環境作り」を基に、以下 4 点の事業目標を設定し事業に取り組んだ。

- ① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」のため、ワークライフバランスを意識した働き方を追求する。職員が働くことの楽しさや喜びを実感できるよう職員一人一人に合わせた目標設定を行い、目標達成の経験を積むことでやりがいを感じられる環境を整える。日々のコミュニケーションを大切にしながら、職員同士の関係性の構築に努め、風通しの良い職場づくりを目指す。
- ② 「利用者満足度及び支援力の向上」のため、適切な計画相談とモニタリングを実施しながら、必要な時に迅速に相談に乗ることのできる体制を整える。必要とされる方が必要とする時に相談できる窓口となれるよう、基本相談の役割を担う。研修や部会への積極的な参加で学びの機会を確保する。積極的に他職種との連携を図り、様々な専門家との関わりの機会を増やし、職員の専門性を高めていく。
- ③ 「安定的な事業運営」のため、職員がやりがいを持ち、長く働くことのできる職場となることを目指し、ワークライフバランスの実現に取り組む。具体的な数値目標を掲げ、事業所全体で共有することで安定的な運営を図る。事業所内の環境整備に重点的に取り組む。困難なケースに関しては事業所内でのケース検討や必要に応じた専門機関からの助言・指導を受けることで、“抱え込まない支援”を目指す。
- ④ 「地域支援体制の構築と情報発信力の強化」のため、顔の見える関係づくりを大切にしながらソーシャルワークを行うことで、地域と一体となり支援を進めることを目指す。地域の抱える課題を拾い上げ、積極的に問題提起を行う。障害のある方がその人らしい生活を送れるよう、地域を中心とした基盤・ネットワーク作りを目指し、相談業務に取り組んでいく。

以下、各項目について記載する。

- ① 「働きやすさと成長を実感できる職場作り」について、業務効率化のために書類作成やシステム整備を行うことでワークライフバランスの実現を目指した。また、業務の内容や進め方を職員間で共有することで、誰もが業務を担うことができるようになり、助け合いやすい職場環境となっている。その結果、事業の特性上時期によって波はあるものの、時間内に業務を終わらせられる日も増えている。ワークライフバランスの実現に向けては、引き続き事業所としての課題意識を持ち、具体的な取り組みを進めていきたい。

2. 利用者・職員の状況

(1) 利用実績

【計画相談支援・障害児相談支援】

(単位：名)

年月	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績	133	72	62	51	49	65
年月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月
実績	62	47	33	43	40	80

(2) 利用（開所）状況

(単位：日)

年月	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日	22	22	22	23	20	21
年月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月
開所日	23	22	22	22	20	22

開所日合計…261日

(3) 職員の状況（2025年3月31日現在）

(単位：名)

	管理者	相談支援専門員	相談支援員	合計
常勤	1	1		2
非常勤		1	1	2

※管理者は同一敷地内他事業所管理者兼務

※相談支援専門員一名は同一敷地内他事業所訪問支援員兼務

※相談支援専門員一名は同一敷地内他事業所児童指導員兼務

※相談支援専門員一名は法人本部兼務

(4) 職員の勤務体制（2025年3月31日現在）

A 勤	8:15～17:00（45分休憩含む）
B 勤	9:30～18:15（45分休憩含む）
C 勤	8:45～12:45（休憩なし）
D 勤	13:30～17:30（休憩なし）
E 勤	9:30～13:30（休憩なし）
F 勤	14:15～18:15（休憩なし）

3. 主な年間行事

なし